

飯綱高原観光施設整備計画（案）

～飯綱高原の魅力を発信！『飯綱高原ブランド化計画』～

長野市商工観光部観光振興課

－飯綱高原の現状と課題－

- ①スキー場の厳しい経営状況（温暖化による雪不足、スキー人口の減少等）
- ②観光施設の老朽化と魅力不足
- ③多様化するレジャーへの対応力不足
- ④グリーンシーズンの誘客の核となる施設がない
- ⑤観光施設の低い収益性 など

① 地元検討会での議論

飯綱高原観光施設活用検討会 H28.10設立

- 構成団体：芋井地区住民自治協議会、飯綱高原観光協会、飯綱高原スキー場運営協議会 他
- 将来の飯綱高原を見据え、課題解決、観光施設のあり方や方向性、地域の活性化について検討
(平成28年10月27日 ～ 平成30年2月8日まで 計11回開催)

平成30年3月23日 市長あて、検討内容の最終報告(提案書)

※最終報告書の提出後も、現在までに引続き4回の検討会を開催

② 議会・監査委員からの意見等

■ 平成28年度決算監査における指摘事項（抜粋）

滑走エリアの見直しや夏季の活用方法はもとより、時代の変化に応じた新しい発想から施設の在り方を地元とともに検討することを望む。

■ 平成29年12月議会決算特別委員会委員長報告（抜粋）

厳しい経営状況が続いていることから、地元住民等との検討を進める上では、営業縮小や廃止なども含めた多角的検討を行い、地域の活性化と将来を見据えたスキー場の今後の在り方について早急に検討を求めるものであります。

■ 平成30年3月議会委員長報告（抜粋）

飯綱高原スキー場については、地元関係者等との検討結果を踏まえ、スキー場を含めた年間を通じた飯綱高原観光施設の今後の在り方について、速やかに市の方針を示すとともに、丁寧な説明を行うよう要望する



③ 活用検討会からの提案

■ 今後の方針

飯綱高原における今後の観光戦略は、「**ウィンターシーズン**」を中心としたものから「**グリーンシーズン**」へ転換していく

■ 提案概要

提案 1 「(仮称)山の駅 飯綱高原」の整備による誘客と地域振興

農林産物直売所や観光窓口機能等を兼ね備えた「(仮称)山の駅 飯綱高原」の整備

提案 2 既存観光施設のリニューアルによる魅力と利便性の向上

キャンプエリアの拡張、老朽化した湖上ステージの改修、飯綱高原運動広場の設備充実等
既存観光施設のリニューアル

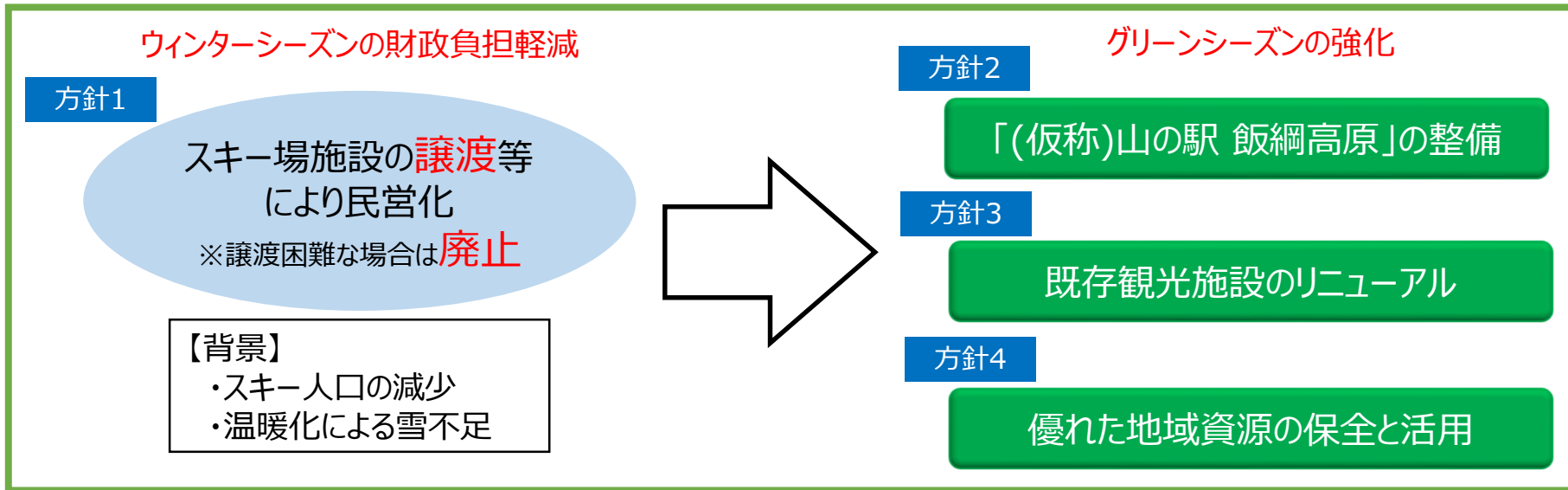
提案 3 「優れた地域資源の保全と活用」による魅力の向上

飯縄山(登山道)や大座法師池、大谷地湿原、一の鳥居苑地等の地域資源(観光資源)
を保全する活動体制の構築と積極的推進

提案 4 スキー場は事業譲渡等により市の財政負担が伴わない民間運営へ

民間事業者への事業譲渡等により、長野市の財政負担の伴わない民間運営へ移行。事業譲渡が困難な場合は、廃止もやむを得ない。

■ 事業スキーム



■ 期待できる効果

観光振興

- 一年を通じた観光施設の活用と誘客強化、飯綱高原の魅力アップ、観光客の利便性・回遊性の向上、**賑わいの創出** など

地域振興

- モノ、ヒト、カネの循環づくりによる地域活力の向上、**仕事と雇用の創出**、産業振興、地域住民の利便性の向上、農産物生産者等のやりがいづくり など

長野市の財政負担の軽減

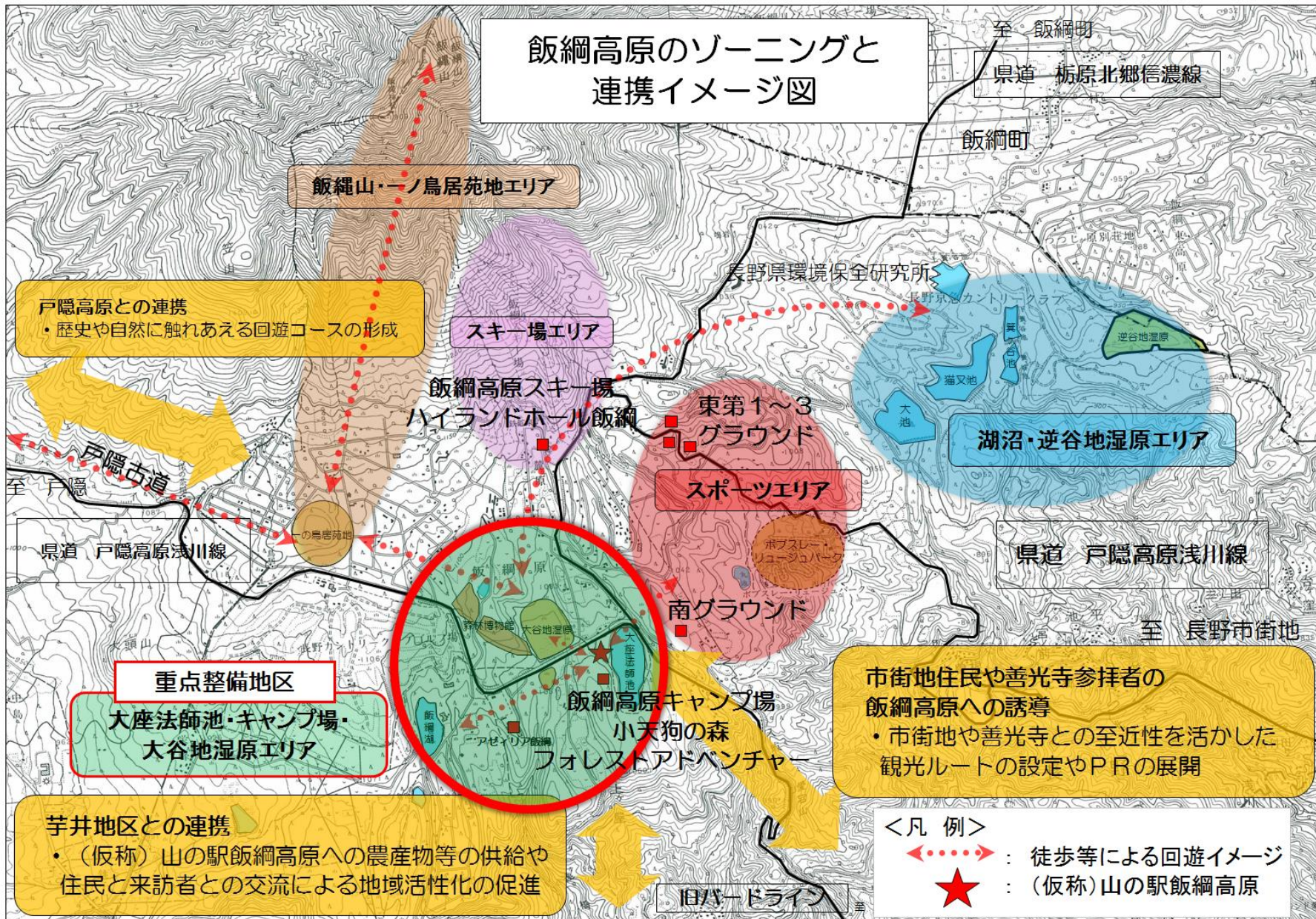
- **民間事業者によるスキー場運営**または**廃止**により、将来にわたる長野市の財政負担を軽減

活用検討会からの提案を受けて

■ 飯綱高原にはキャンプ場や自然を生かしたアスレチック施設など、訪問者に非日常空間を提供できる施設が多く点在しているが、各施設を線で結ぶアプローチがなく、滞在時間、観光消費額を延ばすようなコンテンツの提供ができていない現状にある。

そこで、ウィンターシーズンからグリーンシーズンへ転換していくこのタイミングを逃さず、次に掲げる基本方針の下、**魅力ある飯綱高原観光施設**を作り上げていく。

- ① 市街地からの至近性と豊かな自然環境を生かした**戦略的な観光施策の推進**
- ② 来訪者との交流による**地域産業と地域コミュニティの活性化**
- ③ 民間活力導入による、**効率かつ効果的な施設運営**





大谷地湿原

山の駅整備予定地



(イメージ)

山の駅ゾーン

キャンプ場ゾーン



小天狗の森・フォレスト
アドベンチャーゾーン



水辺・芝生ゾーン



A

B

C

D

A 山の駅ゾーン

- 整備内容（詳細な整備内容は8ページ以降参照）
大座法師池周辺エリアの周遊の拠点施設として、
（仮称）山の駅を新設。

① 山の駅本体

- ・飲食施設、アクティビティ施設、
物販施設、観光インフォメーション等

② 駐車場 新規駐車台数69台

③ 公衆トイレ



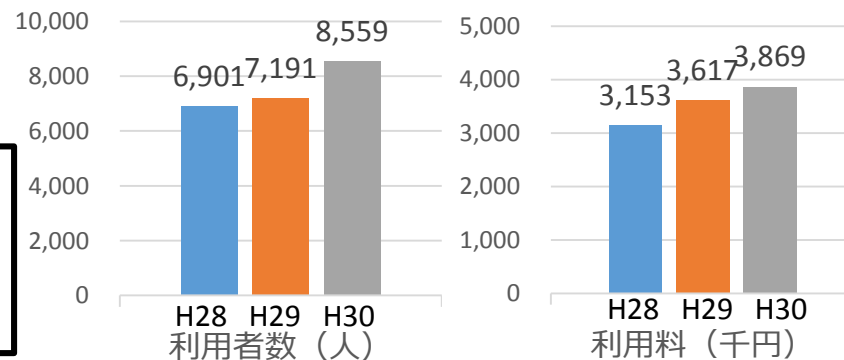
B キャンプ場ゾーン

■ 現状

- ・キャンプ場利用客の増加
- ・バンガローの老朽化・低稼働率

※H30バンガロー稼働率
⇒**19.4%**（8月は35.4%）

- 整備方針・バンガロー（5棟）撤去及びフリーサイト拡張・グラビングサイト整備・炊事場改修
・施設整備に併せた利用料金の見直し



各ゾーン整備②

C 水辺・芝生ゾーン

■ 現状

- ・ボート場は、休日はある程度の利用がある。
- ・芝生広場は、イベント開催時のみ賑わう。



■ 整備方針

- ・人気アクティビティの導入
- ・火まつりのステージを、おしゃれな水上テラスに改修
- ・彩どり豊かな山野草等の植栽（大座法師池周辺）



芝生ゾーンの冬のアクティビティ

スノースライダー（12月～3月）



スノーシュー（12月～3月）



スノーチュービング（2月）



各ゾーン整備③

D 小天狗の森・フォレストゾーン

■ 現状

- ・小天狗の森（無料）は、老朽化が進んでいる。
- ・フォレストアドベンチャーは、若者世代の利用も多い。

■ 整備方針

- ・計画的な施設改修及び周辺施設との連携強化



大座法師池周辺エリアのゾーン間連携による相乗効果

① A山の駅ゾーン + B キャンプ場ゾーン

- ・キャンプ場利用客から、バーベキューに地場産品を使いたいという要望

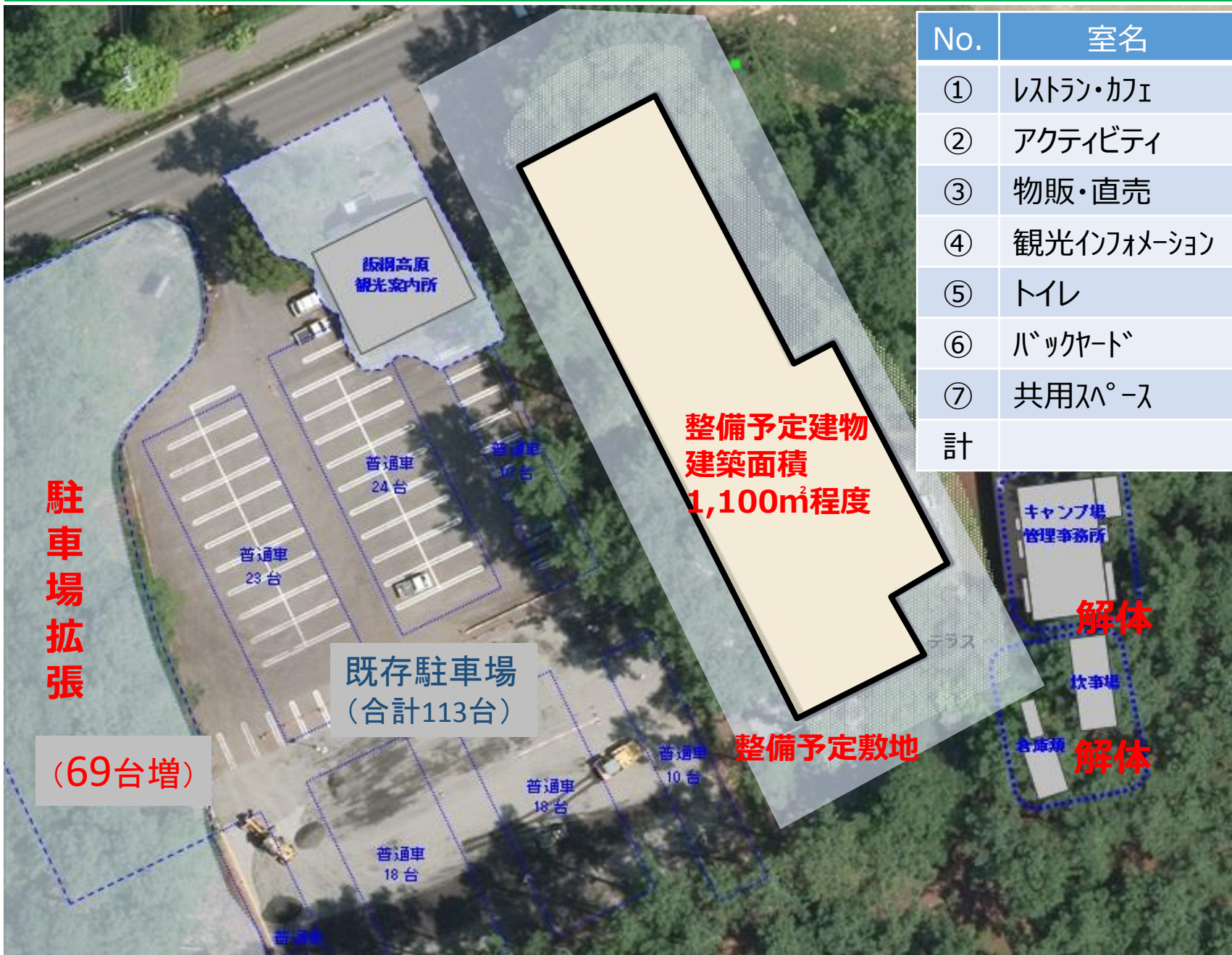
⇒地元でとれた野菜等の購入増が見込める。

② A山の駅ゾーン + C 水辺・芝生ゾーン

- ・アクティビティの利用受付は山の駅で行い、ファミリー層へのP Rを強化

⇒レストラン・カフェ等の家族利用の増加が見込める。





No.	室名	面積㎡
①	レストラン・カフェ	150
②	アクティビティ	400
③	物販・直売	210
④	観光インフォメーション	70
⑤	トイレ	100
⑥	バックヤード	40
⑦	共用スペース	130
計		1,100

(1) 飲食施設

- ・地元食材を活用した魅力的なメニュー（ビール、コーヒー、アイス、パンなど）の提供
⇒キャンプ場利用者などへ食材の販売、水上テラスへ誘導
- ・Wi-Fi等完備の「森のワークスペース」（テレワーク）の設置

【想定規模】

○レストラン+カフェ 50席程度 ○必要面積 = 約150㎡程度（厨房スペース含む）

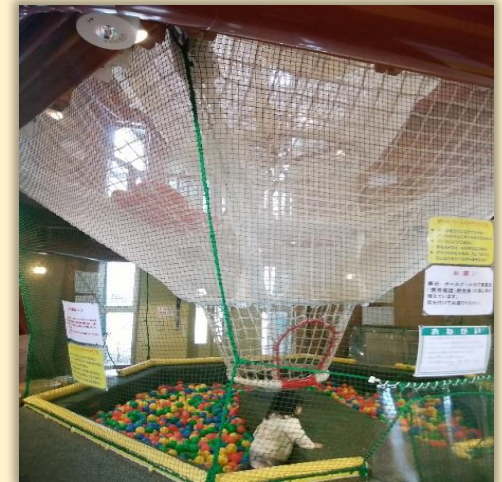


(2) アクティビティ施設

- ・全天候型の大規模遊具等の設置
- ・平日は自然体験等を求めるアクティブなママ友グループを、休日はキャンプ等を行う子育て世代をターゲットに。
- ・イベントや子供をみながら休むことができる多目的スペースを併設

【想定規模】

○必要面積 = 約400㎡程度



(3) 物販施設

・新鮮な地元産農産物等を販売

⇒朝穫れ野菜などの付加価値の高いものを提供

⇒キャンプ客などを意識した商品展開

・野菜直売は地元が組織する農産物等出荷組合を利用することにより、地域産業を振興

【想定規模】

○必要面積 = 約210㎡程度

(4) 観光インフォメーション

・キャンプ場との連携・機能集約によるワンストップサービス

・レンタルやルディックウォーキング等のアクティビティの導入により
地域内の回遊性を高める

・飯綱高原及び周辺地域の観光案内スペースを設ける

【想定規模】

○必要面積 = 約70㎡程度



(5) 公衆トイレ

- ・24時間利用可能な公衆トイレ
- ・主な利用を想定する子育て世代に対応した「優しい」トイレ
- ・既存の公衆トイレ『高原の泉』は機能集約して撤去

【想定規模】

○必要面積 = 約100m²程度



(6) 駐車場

- ・連休や夏休みなどのピーク時には、既存駐車場が満車となることから、既存部分を拡張し山の駅来訪者のための駐車場を確保する
- ・サイクリングを楽しむ方のために、サイクルスタンドを設置

【想定規模】

○必要台数 = 増設台数 計69台 (既存駐車場113台)



- ①大座法師池周辺・12時間道路交通量調査結果 (7:00~19:00)
 ・平成30年8月23日(水)~8月27日(月)実施に基づく

車種	平日	休日
普通車	3,855	4,885
大型車	86	76

- ②乗車人員
 ・道路交通センサスの車種別乗車人員を採用した

車種	乗車人員
普通車	1.30人
大型車	1.18人

- ③立寄率
 ・道の駅の立寄人数を試算する際に活用されることが多い『道の駅調査』の立寄率を採用した

車種	平日	休日
普通車	6%	20%
大型車	3%	3%

- ④施設の営業予定
 ・営業日数は、平日217日、休日120日と仮定

平日	休日	休業
217	120	28

立寄人数 = ① (交通量) × ② (乗車人員) × ③ (立寄率) × ④ (営業日数)

試算結果

施設名		飯綱高原
交通量	平日	3,941台
	休日	4,961台
試算人数		218,728

《参考》平成27年度道路交通センサスの交通量と施設の利用実績
 (12時間交通量) 7:00~19:00

施設		信州新町	中条	大岡
交通量	平日	8,611台	4,093台	3,776台
	休日	交通センサス上データ無し		
実績人数		383,209	230,780	173,965

上位推計 年間 218,728人

- 試算の結果、年間の立寄者数は 218,728人（上位推計）と予測される



中位推計 年間 144,042人

- 交通量の調査時間を上位推計の12時間から7時間に絞り込み
(9:00~16:00)



下位推計 年間 114,042人

- さらに、山の駅の利用の可能性が低いゴルフ場利用者 3万人を減

推計方法	交通量調査時間	他の要因	立寄者数
上位	12時間	—	218,728人
中位	7時間	—	144,042人
下位	7時間	ゴルフ場利用者減	114,042人

まとめ

※冬期間の落ち込みを踏まえた推計

立寄者数

施設名	山の駅 飯綱高原		
	上位推計	中位推計	下位推計
立寄者数[人/年]	218,728	144,042	114,042
ひとりあたり消費額[円/人]	800		
収入計[円・年]	174,982,400	115,233,600	91,233,600

《参考》市内類似3施設の利用者数等実績（H29）

施設名	市内類似施設（道の駅）		
	信州新町	中条	大岡
利用者実績	383,209	230,780	173,965
消費額	880	787	462
収入計	337,451,786	181,632,684	80,400,045

収支

区分		山の駅 飯綱高原 収支見込		
		上位推計	中位推計	下位推計
収入	売上高	174,982,400	115,233,600	91,233,600
	指定管理料	0	0	0
	計	174,982,400	115,233,600	91,233,600
支出	人件費等	59,144,051	38,948,957	30,808,800
	施設維持管理費	19,856,000	19,856,000	19,856,000
	原価費	76,467,309	50,357,083	39,869,083
	計	155,467,360	109,162,040	90,533,883
収支		19,515,040	6,071,560	699,717

区分	山の駅	市内3道の駅
人件費率	33.8%	39.2%
原価率	43.7%	43.7%

※公マネLCC計算シートによる

従業員配置計画 （下位推計）

職務	人件費根拠
施設長① （正規）	5,000千円
社員① （正規）	4,000千円
物販直売③ （従業員）	夏8h*8ヵ月 冬6h*4ヵ月 時給900円 月20日勤務
飲食担当⑤ （従業員）	
遊具担当③ （従業員）	
ポート① （従業員）	

※○の数字は人数

○人件費：施設長(1)・社員(1)・物販直売(3)・飲食(5)・遊具(3)・ポート(1)＝計14名

○施設維持管理費：光熱水費・修繕費等公マネLCC計算シート

■現状（H30実績）4月～10月

収入(ポート場合)	支出(人件費除く※)	収支
5,481千円	4,241千円	1,240千円

※キャンプ場の人件費については、**山の駅の支出に含まれている**ので、ここでの試算から除外する。

改定案

★見直し条件

①フリーサイト拡張 ②利用料金の引き上げ（戸隠キャンプ場を参考に）

区分	現料金	改定料金	利用数(見込)※	収入
宿泊	持込みテント(小)	1,000円	454件	681千円
	持込みテント(大)	1,500円	543件	1,358千円
	ログキャビン	8,000円	170件	1,700千円
日帰り	施設使用料	100円	4,928人	986千円
その他(レンタルテント、ポート場等)				2,485千円

※「利用数」については、H30実績を基準に、キャンプ場の利用者数が10%増加するものとして算定

改定後

収入合計⇒
7,210千円

全体収支計画（山の駅+キャンプ場・ポート場）

区分	上位推計	中位推計	下位推計
収入	山の駅	174,982,400	91,233,600
	キャンプ場・ポート場	7,210,000	7,210,000
	計	182,192,400	98,443,600
支出	山の駅	155,467,360	90,533,883
	キャンプ場・ポート場	4,665,100	4,665,100
	計	160,132,460	95,198,983
収支	22,059,940	8,616,460	3,244,617

※キャンプ場利用者数の10%増に合わせて、**支出を10%増やす**。

【事業手法】

- 山の駅とキャンプ場を設計・施工・運営プロポーザルにより一体的に整備

【主な提案条件】

- 市から、指定管理料の支払いはせず、独立採算での運営
- 営業期間は、通年営業を基本とするが、冬季間（11月から3月）に限り、土日祝日のみの営業とする提案も可能

※冬季間の平日営業の提案があった場合は、審査の際に加点

【予定財源】

- 辺地債(充当率100%・交付税措置80%) を活用するため辺地計画を策定し、補正予算と併せて12月議会提出
- 国の地方創生関係交付金等の予算措置がされた場合は活用を予定

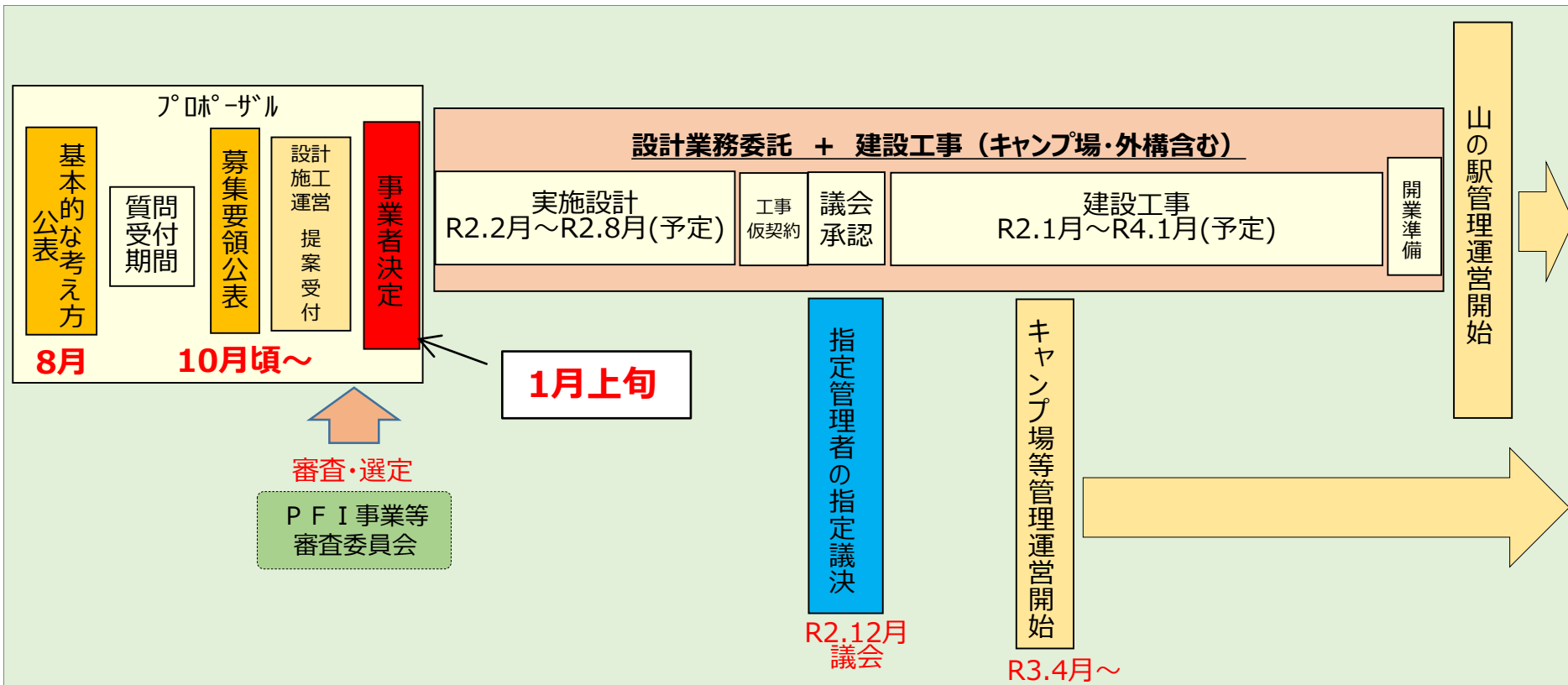
辺地対策総合整備計画(辺地計画) 年度別事業一覧 (素案) (千円) 21

	事業名	上段：予定事業費 下段：事業概要			合計
		R1	R2	R3	
1	山の駅整備	23,969 設計・工事管理費	581,869		659,338
			建築工事		
2	飯綱高原キャンプ場再整備 (バンガロー撤去及びサイト拡張、 炊事場改修 他)		53,500		
			建築工事		
3	山の駅地盤調査業務委託 (R1既決予算)	4,104			4,104
		調査業務			
4	山の駅敷地測量業務委託 (R1既決予算)	10,260			10,260
		調査業務			
5	大座法師池水上テラス整備 (R1既決予算)	38,778			38,778
		整備工事			
6	山の駅備品			20,000	20,000
				備品購入	
7	小天狗の森フィールド アスレチック		7,000		7,000
			整備工事		
8	大座法師池周辺植栽整備	1,000	1,000	1,000	3,000
		整備委託	整備委託	整備委託	
9	大谷地湿原遊歩道改修			10,000	10,000
				改修工事	
合計		78,111	674,369		752,480

令和元年度

令和2年度

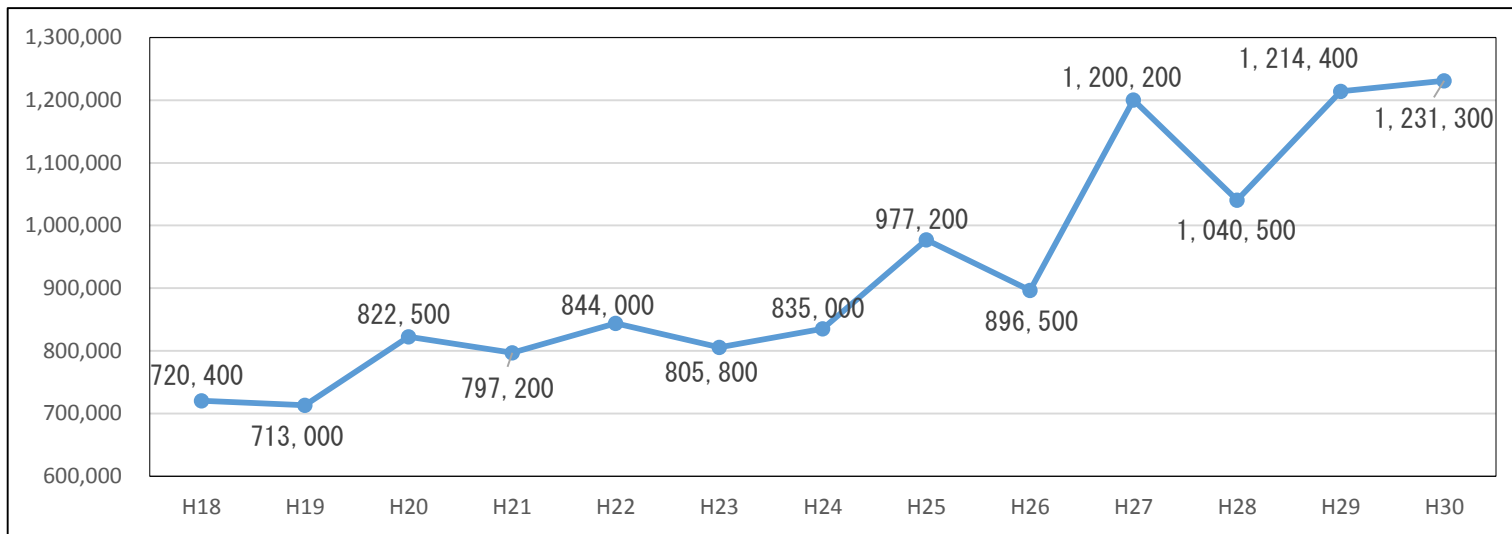
令和3年度



■ 山の駅の竣工及び管理運営開始時期は、プロポーザルでの提案工期により最終決定する。

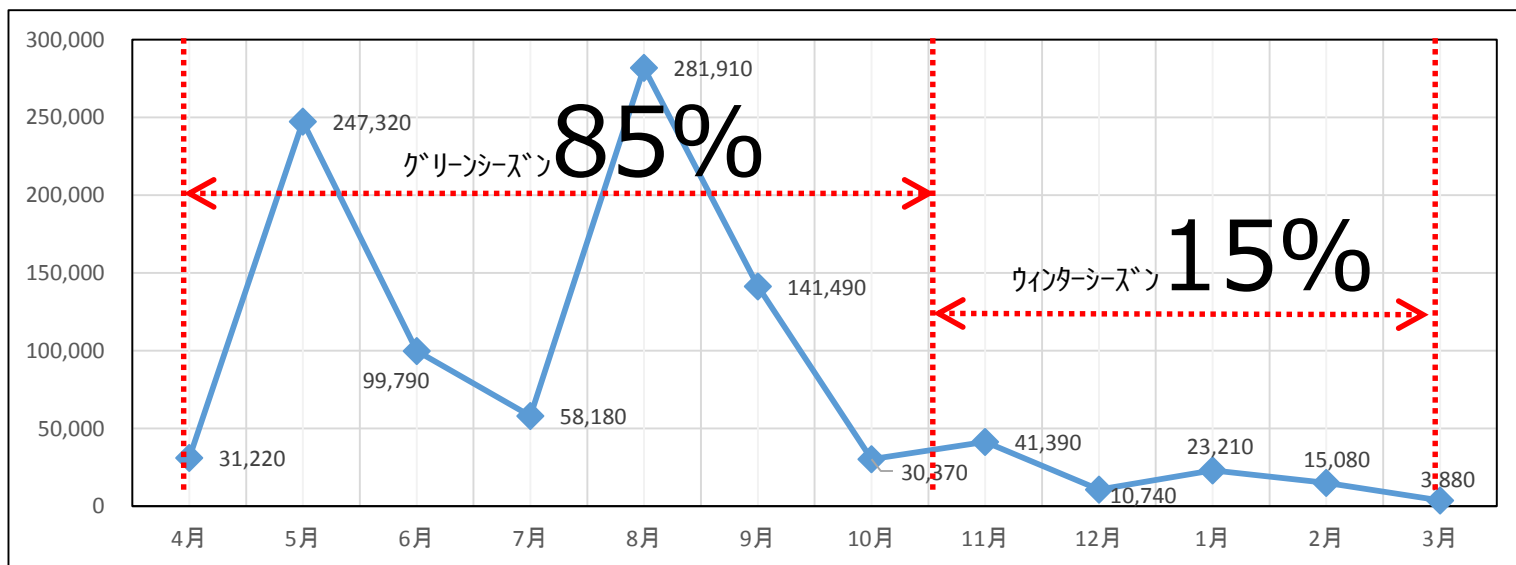
■ キャンプ場等の管理運営開始時期は、令和3年度の4月とする。

飯網高原の年別来訪者状況推移

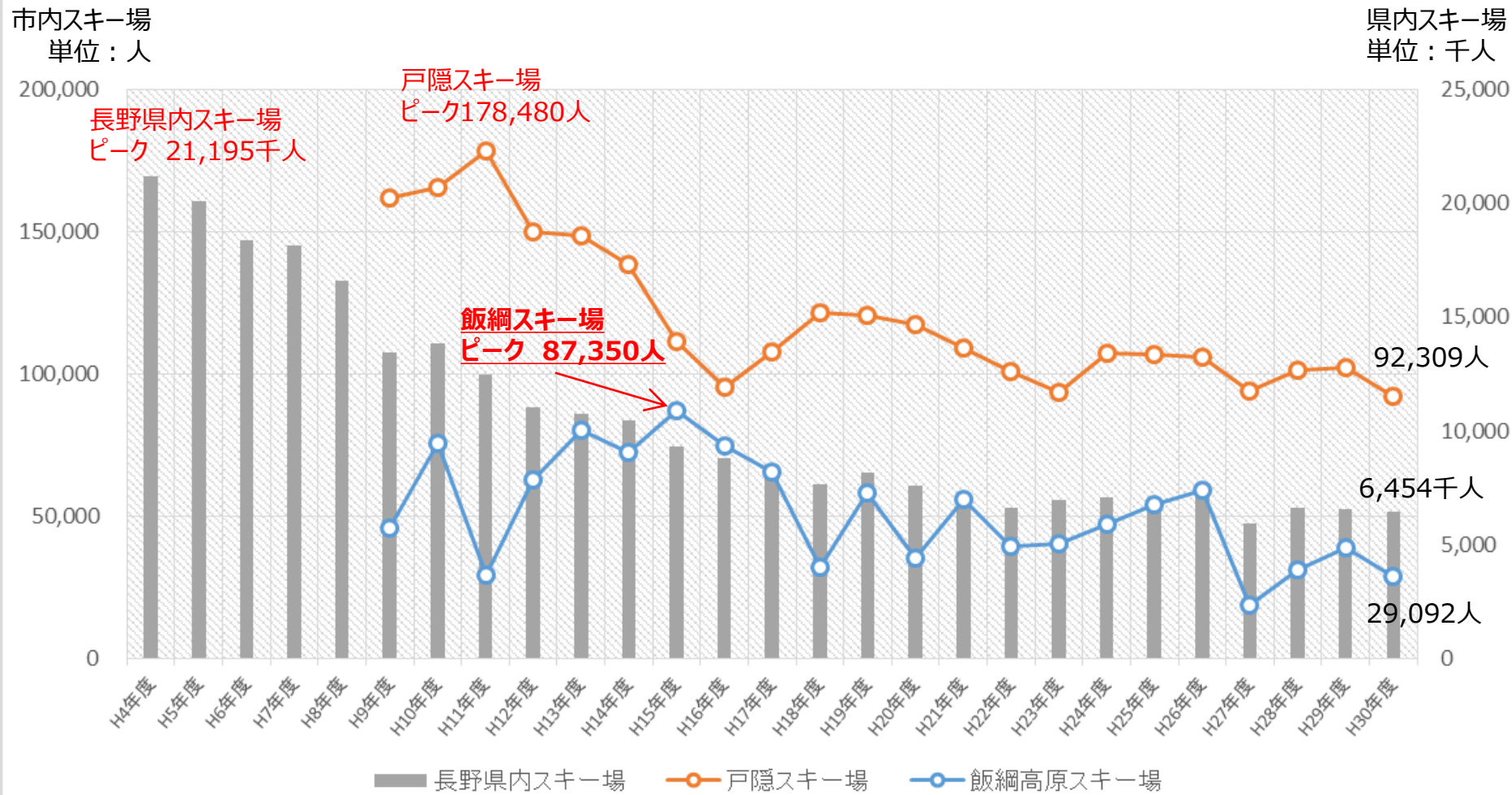


飯網高原の月別来訪者状況

※過去10年間 (H21~H30) の平均値 (人)



① 全国的なスキー人口の減少、利用者数の伸び悩み



② 市の多額な財政負担

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	平均
歳出額[千円]	97,891	97,947	88,582	96,301	102,309	130,783	115,584	95,177	88,890	69,617	98,308
利用者数[人]	55,978	39,389	40,268	47,490	54,276	59,033	18,777	31,224	39,216	29,092	41,474
一人当たり 歳出額[円]	1,749	2,487	2,200	2,028	1,885	2,215	6,156	3,048	2,267	2,393	2,370

《参考》飯綱高原スキー場事業特別会計への平成8年度から平成30年度まで
23年間の一般会計からの繰出金の合計額 = 3,083,796千円

③ 温暖化による雪不足

測定地点 (標高)	H18 平均気温	H27 平均気温	比較 平均気温
長野市 (418m)	12.1℃	12.8℃	+0.7℃
飯綱高原 (1,030m)	8.2℃	9.3℃	+1.1℃

■長野市で0.7℃、飯綱高原で1.1℃上昇している。

図表3 長野市及び飯綱高原の平均気温推移

